

国語「文の組み立て」

名前

語順や、主語と述語の関係に気をつけて、文を組み立てよう。

〈やり方〉

①教科書64ページ上段に書かれたカードを並びかえて、意味の通る文を作ろう。



②教科書64ページ下段と65ページ上段を読み、「主語と述語の関係」を理解しよう。

主語	述語	主語	述語
枝が	のび、	葉が	しげる。
主語	述語	主語	述語
ぼくが	植えた	木が	育った。

一つの文の中に、主語と述語の関係が二つ以上出てくる場合も！

③次の文の中の、主語と述語の関係を見つけ、②と同じように主語・述語と書き込もう。

- ・券売機が故障したうえに、電車がおくれた。
- ・立派な警察署が完成し、住民は喜んだ。
- ・祖父が通う銭湯が県庁の近くに移転した。

④次の文を二つに分けて書き直し、同じ内容を表してみよう。

- ・姉がくれたカップはとてもかわいい。

↓

- ・有名な作家が訳した外国の童話を読んだ山田さんが感想を述べる。

↓

やってみよう！

- ・裏面にワークシートがあるので取り組みましょう。

一、次の文の中の、主語と述語の関係をもう一組ずつ見つけ、主語に――、述語に――を引きましょう。

① 昨日**ぼく**が**読んだ本**に、**友達**が**興味**をもった。

② **公園**に**大きな花**が**さい**て、**人**が**たくさん****集まった**。

③ **祖父**が**山**で**つんだ山菜**が**おいしく料理**された。

二、次の文の主語と述語の関係を二組書きましょう。

① 母が**熱心**に**育てた花**が**きれい**に**さい**た。

主語) (――述語) ()

主語) (――述語) ()

② **太陽**は**東**からの**ぼる**と**理科**の**授業**で**習**った。

主語) (――述語) ()

主語) (――述語) ()

三、主語と述語の関係が二組ある文を作りましょう。

☆

主語) (――述語) ()

主語) (――述語) ()

○学習感想(思ったことや感じたこと、気付いたことを書きましょう。)

☆終わった日
月 日()
☆保護者サイン

国語「夏のさかり」

名前

あなたの地域のこれまでの「夏」を、手紙（暑中見舞い）に書こう。

〈やり方〉

①夏を感じとせる言葉を集めて、表にまとめよう。

行事・できごと	生き物・植物 (例) ひまわり
その他	歌の題名・歌詞

②教科書76、77ページを読み、季節の言葉（立夏、夏至など）について知ろう。

③夏といっても、時期によって、見られる風景は様々。あなたの地域のこれまでの「夏」を手紙に書いて、友達やお世話になった人に、夏の便りを送ろう。

〈学習のポイント〉

・「暑中見舞い」の書き方は、裏面の手本を参考にしよう！

・教科書76、77ページの季節の言葉も参考にしてお手紙が書けると上級者！

〈やってみよう！〉

・裏面にワークシートがあるので取り組みましょう。

○自分の地域の「夏」について暑中見舞いに書いてみましょう。

暑中お見舞い申し上げます



① お見舞いのあいさつ

暑中お見舞い申し上げます

② 時候のあいさつからはじまる本文

年々暑さが厳しくなり、今年もすでに全国で最高気温記録が更新されましたが、いかがお過ごしでしょうか。このような気候ですが、お陰様で、私たちは涼を得ながら元気に過ごしております。
酷暑の折、夏バテなどなさいませんよう心よりお祈りいたしております。

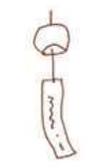
③ 結びのあいさつ

〇〇令和元年 盛夏

④ 日付

詳細な日付は書かない。縦書きの場合は、年号を漢数字で書く。

句点「。」は書かない。



☆終わった日
月 日 ()
☆保護者サイン

イラストも工夫
できるといい
ですね☆

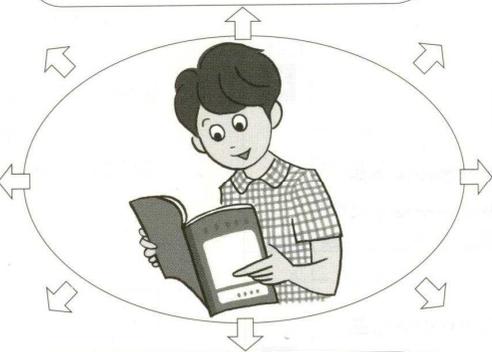
国語「私と本」

名前【 】

自分と本との関わりについて考えてみよう。

〈やり方〉

①どんな本を読んできたか、どのくらい本を読んでいるかなどをふり返り、自分が本とどのように関わっているかを考えよう。(教科書79ページを参考にしよう！)

<p>どんなとき、本を読み たくなるか。</p>	<p>どこで読むか。</p>	<p>読むと、自分にどんな 変化が起きるか。</p>
<p>どのくらい本を 読んでいるか。</p>		<p>どんな本が好きか。</p>
<p>どんな読み方をしてい るか。</p>	<p>その他。</p>	<p>これから読みたいの は、どんな本か。</p>

○「印象深い本」との出会いや、その内容を振り返って、そのテーマがどのようなものか考えよう。(教科書80ページを参考にしよう。)

①「印象深い本」のタイトルは？

③この本の内容は？
(題材・ストーリー・登場人物・印象深い言葉や場面など)

②この本との出会いは？
(いつどこでどのように)

④なぜ自分にとって「印象深い本」なのか？

⑤自分が考えるこの本のテーマは？

○学習感想(「自分と本との関わり」を考えてみてどうでしたか。)

☆終わった日

月 日()

☆保護者サイン

国語「つないで、つないで、一つのお話」

【名前】

グループ（家族）で協力して、一つのお話を作ろう。

〈やり方〉

①これから作るお話の、最初の一文と、最後の一文を決めよう。

例…最初の一文「ある小学校に、大きな木がありました。」

例…最後の一文「めでたしめでたし。」

②グループ（家族）で、最初の一文と最後の一文を言う役をそれぞれ決めよう。

③一人目から順番に、一文ずつお話をつないでいこう。

例…「たろうさんは、見てしまったのです。」

④最後の人は、決めておいた最後の一文を言って終わろう。

⑤できたお話はどうだったか、グループ（家族）で感想を伝え合おう。

例…「あの一文で、展開が大きく変わったからおもしろかったね。」

〈学習のポイント〉

・前の人の話をよく聞いて、楽しくお話を続ける。

・あまり考えすぎずに、思い浮かんだことを一文で言う。

☆最初と最後の一文を、入れかえたり、自由に考えたりする。

☆三周、四周とお話をつなぐ周数を増やしてみる。

〈やってみよう！〉

・裏面に記録用紙があるので取り組みましよう。

※教科書1₂、1₃ページも参考にしよう。



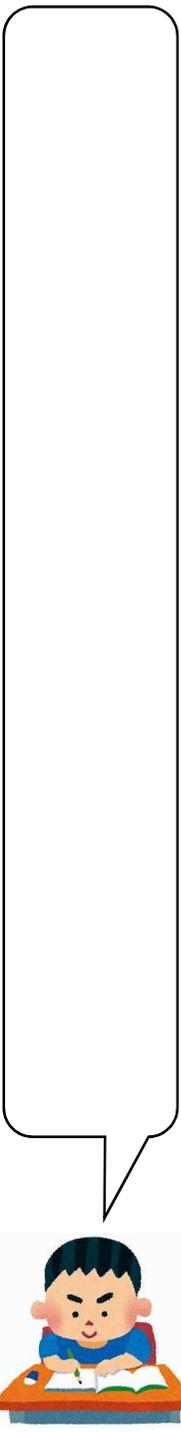
国語「春の河」「小景異情」

名前【

詩を読んで、自分が感じたことが伝わるように工夫して音読しよう。

〈やり方〉

①「春」と聞いて、思い浮かべることを書き出してみよう。



②二つの詩「春の河」「小景異情」の情景を思い浮かべてみよう。



例…何が「あふれてる」「んだらう」…。

例…「あふれてる」「だから、量の多さや空間の広がりを意識して」…。

例…「あふれよ」と、呼びかけている。どんな思いで呼びかけているのかな…。

③裏面の表が完成したら、思い浮かべた情景が伝わるように音読しよう。

④学習のまとめをし、教科書十六ページ「続けてみよう」を読もう。

〈学習のポイント〉

・表現の違いや、反復している言葉、 比喩表現に着目する。

例…なぜ題名が「春の川」とはなく、「春の河」なのか。

例…「あふれよ」「は反復だが、このあふれよの思いが込められているのか。

例…「燃えよ」とは、いついっつ意味なのか。

〈やってみたい〉

・裏面にワークシートがあるので取り組みましょう。

※教科書 14、15ページも参考にしましょう。



○思い浮かべた情景が伝わるように、じつぎのようにつまみまじよう。

<p>読み方の工夫（読む速さ、声の大きさ、 間の取り方、声の高さ・明るさなど）</p>	<p>想像した情景や筆者の思い</p>
<p>春の河 山村 暮鳥 たつぷりと 春は 小さな川々まで あふれてゐる あふれてゐる</p> <p>例…量の多さを表現する ために語を大きく！</p>	<p>例…「小さな川々」だから、 小川や沢、用水路など いろいろな川が含まれている。</p>
<p>小景異情 室生 犀星 あんずよ 花着け 地ぞ早やに輝やけ あんずよ花着け あんずよ燃えよ</p>	

○学習感想（二つの詩のうち気に入った方はどちらですか。理由も書きまじよう。）

☆終わった日
月 日()

☆保護者サイン

一、次の漢字に共通する音を表す部分を書きぬき、その読み方をカタカナで書きましょう。

例↓化・貨・花 部分Ⅱ 化 読み方Ⅱ (カ)

① 則・側・測 部分Ⅱ 則 読み方Ⅱ (ソク)

② 青・清・晴 部分Ⅱ 青 読み方Ⅱ (セイ)

③ 求・球・救 部分Ⅱ 求 読み方Ⅱ (キュウ)

二、次の漢字の部首の意味を下の中から選んで、記号を書きましよう。

① イ (ぎょうにんべん) (ウ)

② オ (てへん) (エ)

③ ヲ (りっしんべん) (ア)

④ 月 (にくづき) (オ)

ア 心・思う
イ 家・住む
ウ 道・行く
エ 手・持つ
オ 肉・体

三、次の部分をもつ漢字を集め、部分を表す意味を考えた後、漢字辞典で確かめましよう。

部分(名前)	この部分をもつ漢字集め(最低四つ)	部分が表す意味
例 扌 (てへん)	持・捨・拾・折・扞・担・推・揮・授など	手・持つ
宀 (うかんむり)	宇・安・客・完・官など	「屋根」の形に由来する
氵 (さんずい)	流・浅・清・波・泡など	水
刂 (りっとう)	割・刻・制・劇・創など	元は「刀」で「切り分け」の意味を表す。

○学習感想(思ったことや感じたこと、気付いたことを書きましよう。)

☆ 終わった日
月 日 ()

☆ 保護者サイン

教科書 36 ページ下段の問題解答

① (化・貨・花) ←

- ・文化を伝承する。
- ・校庭の桜が開花した。
- ・蒸気機関車が、貨物列車を引っ張る。

② (静・清・晴・青)

- ・細心の注意をはらって、手紙を書する。
- ・冷かな判断で、物事に対処する。
- ・あの年は、銀行に就職した。
- ・雨天なので、洗濯物を干す。

③ (則・側・測)

- ・地層の年代を測定する。
- ・規則正しい生活をする。
- ・箱の面に名前を書く。

一、次の漢字に共通する音を表す部分を書きぬき、その読み方をカタカナで書きましょう。

例↓化・貨・花 部分Ⅱ 読み方Ⅱ (カ)

① 則・側・測 部分Ⅱ 読み方Ⅱ ()

② 青・清・晴 部分Ⅱ 読み方Ⅱ ()

③ 求・球・救 部分Ⅱ 読み方Ⅱ ()

二、次の漢字の部首の意味を下の中から選んで、記号を書きましよう。

① イ (ぎょうにんべん) ()

② オ (てへん) ()

③ ヲ (りっしんべん) ()

④ 月 (にくづき) ()

ア 心・思う
イ 家・住む
ウ 道・行く
エ 手・持つ
オ 肉・体

三、次の部分をもつ漢字を集め、部分を表す意味を考えた後、漢字辞典で確かめましよう。

部分(名前)	この部分をもつ漢字集め(最低四つ)	部分が表す意味
例オ(てへん)	持・捨・拾・折・払・担・推・揮・授など	手・持つ
ハ()		
シ()		
リ()		

○学習感想(思ったことや感じたこと、気付いたことを書きましよう。)

☆終わった日
月 日()

☆保護者サイン

教科書36ページ下段の問題解答

① (カ) 化・貨・花
・文化を伝承する。
・校庭の桜が開花した。
・蒸気機関車が、貨物列車を引っ張る。

② (青) 静・清・晴
・細心の注意をはらって、手紙を書きする。
・冷たい判断で、物事に対処する。
・あの青年は、銀行に就職した。
・雨天なので、洗濯物を干す。

③ (測) 則・側・測
・地層の年代を測定する。
・規則正しい生活をする。
・箱の表面に名前を書く。

国語「春のいぶき」

名前】

あなたの地域の今の「春」を、俳句に表しましょう。

〈やり方〉

①春を感じさせる言葉を集めて、表にまとめよう。

例…ツツジ(植物)、てんとう虫(生き物)、端午の節句(行事)など

②教科書 38、39 ページを読み、季節の言葉(春分、雨水など) について知ろう。

②自分の地域で春を感じた経験と、その経験を表現するために使えそうな言葉を選んで書いてみよう。

例…最近、近所の公園へ行く近道を見つけた。しかも、周りにはきれいな野のツツジが咲いていたなあ。近道を見つけたことも嬉しかったし、そこにきれいなツツジが咲いていたことも嬉しかったから、その気持ちを俳句で表現しよう！

③春を感じさせる言葉を使って、俳句を書いてみよう。

例…「近道へ 出づれば野の ツツジかな」

〈学習のポイント〉

・春を感じさせる言葉は、いろいろな項目に分けて集めてみる。

↓本やインターネットで調べるだけでなく、家族に聞いてみるのもよし！

・教科書 38、39 ページの季節の言葉も参考にしてお俳句が作れると上級者！

☆初めから字余り、字足らずは気にしない。手直しは、俳句ができてから！

〈やってみよう〉

・裏面にワークシートがあるので取り組みましょう。

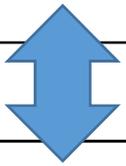


五
七
五
:
:
:

☆終わった日
月 日()
☆保護者サイン

○選んだ言葉をもとに、五・七・五になるように組みかえて俳句を完成させましょう。

自分の地域で春を感じた経験
(例)最近、近所の公園へ行く…



選んだ言葉
(例)出てうれし

ぜひ書きましょう。

○自分の地域で春を感じた経験と、その経験を表現するために使えるような言葉を選

行事・できごと	生き物・植物 (例)ツツジ
その他	歌の題名・歌詞

○春を感じとせる言葉を集めて、表にまとめましょう。

国語「漢字の広場1」

【名前】

五年生までに習った漢字を使い、出来事を説明する文章を書こう。

〈やってみよう！〉

①「漢字の広場1」にある漢字について読み方を確かめましょう。

※分からない言葉は、辞書などで調べて意味を書いておきましょう。

言葉	読み方（意味）	言葉	読み方（意味）
桜		団地	
句会		入居	
山脈		停車	
仏像		往復	
文化財		燃える	
保護		防災	
歴史		囲む	
復旧		新婦	
禁止		県境	
耕す		河口	
肥料		水質	
改築		調査	
事故		寄港	
原因		航海	
検証			

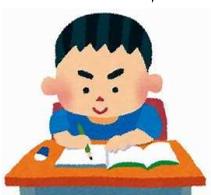
国語「話し言葉と書き言葉」

名前【

話し言葉と書き言葉の違いについてまとめよう。

〈やり方〉

①教科書58ページ上段を読んで、シエフの山口さんの言葉と大村さんの文章にはどのような「違い」があるか書き出してみよう。



②教科書58ページ下段を読んで、「話し言葉」について理解しよう。

- ・ () 音声 () で表す言葉を話し言葉という。
- ・ 声の () 大きさ () や () 上げ下げ ()、() 間 () の取り方などで、自分の気持ちを表せる。
- ・ () 言い間違い () をすぐに直せて、実物を示しながら () こそあど言葉 () で表すこともできる。
- ・ 相手に応じて () 言葉づかい () も選びます。

③教科書59ページ上段を読んで、「書き言葉」について理解しよう。

- ・ () 文字 () で表すことばを書き言葉という。
- ・ すぐに消えてしまう音声とは違い、文字は () 残ります () 。
- ・ だれが読んでも分かるように、() 共通語 () で書き、() 語順 () や () 構成 () を整えることがふつう。
- ・ 誤解を与えないよう、() 主語 () を明らかにしたり、() 誤字 () がないようにしたりするなどの注意が必要。

〈やってみよう！〉

- ・ 裏面にワークシートがあるので取り組みましょう。

※普段の生活から、話し言葉と書き言葉の違いを意識しよう！

○友達への手紙やメールなどでは、話し言葉をそのまま文字にして伝えることがあります。話し言葉と書き言葉の特徴をふまえて、次のことをまとめましょう。

	どんな特徴があるか	気をつけることは何か
話し言葉	※先生が見ます。	※先生が見ます。
書き言葉	※先生が見ます。	※先生が見ます。

○学習感想（話し言葉と書き言葉について学習して、どんな感じがあったか。）

☆終わった日
月 日()

☆保護者サイン

○友達への手紙やメールなどでは、話し言葉をそのまま文字にして伝えることがあります。話し言葉と書き言葉の特徴をひまえて、次のことをまとめてみましょう。

	話し言葉	
話し言葉	どんな特徴があるか	気をつけることは何か
書き言葉		

○学習感想（話し言葉と書き言葉について学習して、どんな感じがあったか。）

☆終わった日
月 日()

☆保護者サイン

国語「たのしみは」

名前【 】

言葉を選んで、あなたの「たのしみ」を短歌で表しましょう。

〈やり方〉

①今の自分たちにとって、「楽しいこと」「何かを書き出してみよう。

②教科書 6 ページを読み、橘曙覧の短歌の内容を確かめよう。



たのしみは 妻子むつまじく うちつどひ 頭ならべて 物をくふ時

① 作者が注目したものは何か	↓	
② どんな様子か	↓	
いつ・どこで だれが(何が) だれと(何と) どんな どのように 何をする		

③短歌にしたい場面を決め、内容をくわしく考えよう。

④言葉を選んで、短歌を完成させよう。「たのしみは」で始まり、「時」で結ぶ

〈学習のポイント〉

・「たのしみ」がもっとよく伝わるように表現を工夫してみる。

↓別の言葉の候補を書いたり、順番を入れ替えてみたりしよう！

〈やってみよう〉

・裏面にワークシートがあるので取り組みましょう。

○自分の「たのしみ」を見つけて、整理しましょう。

場面	自分の「たのしみ」
・家の人や友達のこと ・季節のこと ・衣食住のこと ・趣味のこと その他	

○短歌で表したい「たのしみ」を一つ選びましょう。

↓

○短歌にする内容をくわしく考えましょう。

あなたが注目したものは何か	↓
いつ・どこで だれが(何が) だれと(何と) どんな	↓
様子か どんな どのように 何をする	

○短歌を完成させましょう。(表現を工夫したか、最終チェックを忘れずに！)

たのしみは

時

☆終わった日
月 日()
☆保護者サイン

国語「文の組み立て」

名前

語順や、主語と述語の関係に気をつけて、文を組み立てよう。

〈やり方〉

①教科書64ページ上段に書かれたカードを並びかえて、意味の通る文を作ろう。

※人によって置く場所が違うので、意味が通っていればマル。



②教科書64ページ下段と65ページ上段を読み、「主語と述語の関係」を理解しよう。

主語	述語	主語	述語
枝が	のび、	葉が	しげる。
主語	述語	主語	述語
ぼくが	植えた	木が	育った。

一つの文の中に、主語と述語の関係が二つ以上出てくる場合も！

③次の文の中の、主語と述語の関係を見つけ、②と同じように主語・述語と書き込もう。

主語	述語	主語	述語		
券売機が	故障した	うえに、	電車が	おくれた。	
主語	述語	主語	述語		
立派な	警察署が	完成し、	住民は	喜んだ。	
主語	述語	主語	述語		
祖父が	通う	銭湯が	県庁の	近くに	移転した。
主語	述語	主語	述語		

④次の文を二つに分けて書き直し、同じ内容を表してみよう。

- ・姉がくれたカップはとてもかわいい。
↓（姉がカップをくれた。そのカップはとてもかわいい。）
- ・有名な作家が訳した外国の童話を読んだ山田さんが感想を述べる。
↓（有名な作家が外国の童話を訳した。その童話を読んだ山田さんが感想を述べる。）

やってみよう！

- ・裏面にワークシートがあるので取り組みましょう。

一、次の文の中の、主語と述語の関係をもう一組ずつ見つけ、主語に――、述語に――を引きましょう。

① 昨日**ぼく**が**読んだ本**に、**友達**が**興味をもった**。

② **公園**に**大きな花**が**さいて**、**人**が**たくさん集まった**。

③ **祖父**が**山**で**つんだ山菜**が**おいしく料理**された。

二、次の文の主語と述語の関係を二組書きましょう。

① 母が**熱心**に**育てた花**が**きれいにさいた**。

主語) 母が (―述語) 育てた (

主語) 花が (―述語) さいた (

② 太陽は**東**からの**ぼる**と**理科**の**授業**で**習った**。

主語) 太陽は (―述語) のぼる (

主語) 授業で (―述語) 習った (

三、主語と述語の関係が二組ある文を作りましょう。

☆ ※先生が見ます。

主語) (―述語) (

主語) (―述語) (

○学習感想(思ったことや感じたこと、気付いたことを書きましょう)。()

☆終わった日
月 日()
☆保護者サイン